

第58回日本泌尿器科学会群馬地方会演題抄録

日 時：平成 23 年 6 月 11 日 (土) 15 時 00~
場 所：群馬大学医学部内 刀城会館
会 長：小林 幹男 (伊勢崎市民病院)
事務局：柴田 康博 (群馬大院・医・泌尿器科学)

<セッション I>

座長：奥木 宏延 (館林厚生病院)

臨床症例

1. 異時性両側精巣腫瘍の 1 例

坂本亮一郎, 柏木 文蔵, 黒川 公平
(国立病院機構高崎総合医療センター
泌尿器科)

佐藤 洋一, 根岸 幾 (同 診療放射線科)
北本 佳住 (同 放射線科)
大井 勝 (おおいクリニック)

症例 48 歳男性. 平成 19 年他院で右精巣腫瘍の診断で右高位精巣摘除術施行. 術前腫瘍マーカーは AFP・HCG- β 共に正常値であった. Seminoma, Stage I と診断され, 当院放射線科で予防照射施行, 以降近医で経過観察されていた.

平成 23 年 3 月, HCG- β が 0.2ng/ml と上昇し当科紹介. 触診所見・画像診断にて精巣腫瘍疑われ, 平成 23 年 4 月 4 日に左高位精巣摘除術施行. Seminoma, Stage I であった.

両側精巣腫瘍自体は比較的稀な疾患であるが, 精巣腫瘍患者における体側精巣腫瘍発生率は数%と高く, 健常者の発生率の数百倍であることが知られている.

本症例について, 若干の文献的考察を加え報告する.

2. 右精巣を原発巣とする扁平上皮癌の一例

鈴木 智美, 宮久保真意, 藤塚 雄司
中嶋 仁, 加藤 春雄, 周東 孝浩
新田 貴士, 古谷 洋介, 森川 泰如
関根 芳岳, 野村 昌史, 小池 秀和
松井 博, 柴田 康博, 羽鳥 基明
伊藤 一人, 鈴木 和浩
(群馬大院・医・泌尿器科学)
中川 徹
(国立がんセンター中央病院 泌尿器科)

症例は 47 歳男性. 2010 年 7 月より右精巣腫大および股関節痛を自覚し, 整形外科受診するも, 精査希望せず経過観察. 2011 年 3 月, 歩行困難となり再度整形外科受診, 病的骨折を指摘された. PET-CT にて右精巣腫瘍, 骨, リンパ節および肺への多発転移を認め, 当科紹介受診. 同年 4 月, 右高位精巣摘除術施行. 病理学的診断は低分化扁平上皮癌 (pT4N1M1bS1, R0) であった. 同年 5 月, 化学療法目的に国立がんセンターに転院となった. 精巣から扁平上皮癌の発生は極めて稀で, 我々が調べ得た限り, 国内で第 1 例目である. 他腫瘍からの悪性転化の可能性など, 文献的考察を加え報告する.

3. 精巣鞘膜に発生した漿液性境界悪性腫瘍 (serous borderline tumor; SBT) の一例

加藤 春雄, 関根 芳岳, 鈴木 智美
中嶋 仁, 藤塚 雄司, 周東 孝浩
新田 貴士, 古谷 洋介, 宮久保真意
森川 泰如, 野村 昌史, 西井 昌弘
小池 秀和, 松井 博, 中里 晴樹
柴田 康博, 羽鳥 基明, 伊藤 一人
鈴木 和浩 (群馬大院・医・泌尿器科学)

精巣, 境界悪性腫瘍, 鞘膜

症例は 11 歳男児. 左陰嚢水腫内の結節性病変にて経過観察中に左陰嚢部痛出現. 急性陰嚢症にて試験切開施行. 肉眼的に精巣鞘膜に結節状や乳頭状の病変を認め, 悪性腫瘍を否定できず左高位精巣摘除術施行. 病理は